

**製品名: TATA ボックス結合タンパク質ウサギモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMRe03223**

研究使用のみ

## 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 38 kDa; Observed MW: 38 kDa

## 抗原情報

遺伝子名	TBP
別名	TBP; GTF2D1; TF2D; TFIID; TATA-box-binding protein; TATA sequence-binding protein; TATA-binding factor; TATA-box factor; Transcription initiation factor TFIID TBP subunit
遺伝子 ID	6908
SwissProt ID	P20226
免疫原	ヒト TATA 結合タンパク質 TBP の合成ペプチド

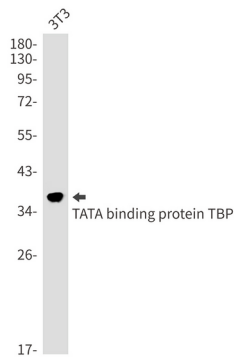
## 背景

転写開始複合体に含まれる数少ないタンパク質の一つである TBP は、DNA に配列特異的に結合することで、RNA ポリメラーゼ II を遺伝子の転写開始部位に配置するのに役立ちます。しかしながら、ヒトプロモーターのうち TATA ボックスを持つのはわずか 10~20%と推定されています。したがって、TBP は RNA ポリメラーゼ II の配置に関与する唯一のタンパク質ではないと考えられます。このタンパク質は、核膜が除去されたサンプルには適していません。

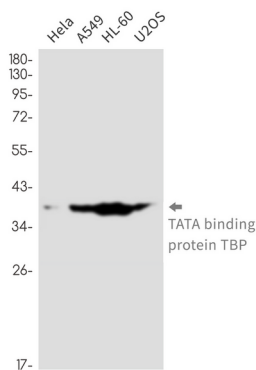
## 研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

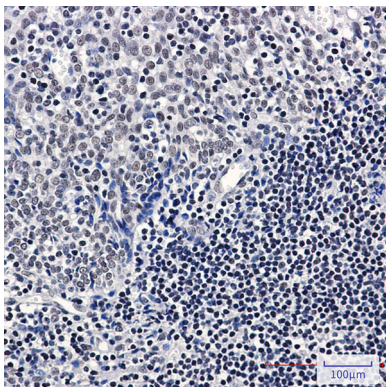
## 画像データ



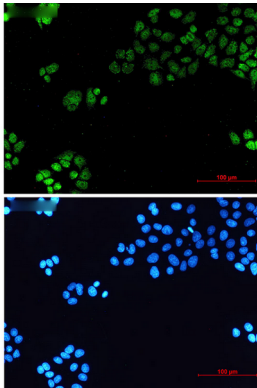
TATA ボックス結合タンパク質抗体を使用した 3T3 溶解物中の TATA 結合タンパク質 TBP のウェスタン ブロット分析。



TATA 結合タンパク質 TBP 抗体を使用した、Hela、A549、HL-60、U2OS 溶解物中の TATA 結合タンパク質 TBP のウェスタン ブロット分析。



TATA 結合タンパク質 TBP 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



TATA 結合タンパク質 TBP 抗体および DAPI (青) を使用した、Hela 内の TATA 結合タンパク質 TBP (緑) の免疫細胞化学分析。